friendship force
AICHI

Newsletter

No.94

今年のFF愛知の活動と今後の愛知クラブを考える　　会長　加藤　紀子

2012年はサンタバーバラへの渡航と3つの受入交換が無事終了し、実り豊かな国際交流の年になりました。クラブ内交流プログラムも期待以上の活発で楽しい活動になりましたが多くの会員が様々な活動に参加する機会が増えたことは嬉しい成果です。過去数年間の愛知クラブを考えると様々な問題もありました。楽しいことだけに参加し、その他は傍観者になる会員ばかりでは組織は早晩成り立ちません。責任を持って問題解決にあたる仕事は易しい事ではありません。長く愛知クラブの運営に関わり、必要な時には汗を流してくださる加藤八郎さん、冨岡さんのような核になるメンバーは年齢を超えて今後もFFのようなボランティア団体には必要であり、貴重な人材であることを痛切に感じる昨今です。一方で数年後のFF愛知を考える時、若いメンバーの役員会への参入を真剣に考える時期でもあります。共にFFを愛し、楽しく一緒に働いてくださる方々を歓迎いたします！

≪世界大会に参加して≫　加藤　八郎

「ヒロシマから平和と友情を…」をテーマに多彩な内容の盛大な世界大会になりました。登録者が22カ国から375名におよび、愛知クラブからも16名が参加。私にとっては第26回ダラス世界大会以来10年ぶりの参加で、この大会を楽しませていただきました。

初めて全体会議および一部のワークショップに同時通訳が採用され、国内参加者にとっては内容が良く理解でき大変助かりました。みなさんが言葉の壁で発言をためらうことなく、自由に意見を述べたり質問ができたことは非常に良かったと思います。

閉会の挨拶でFF日本の愛知和男名誉顧問が「FF本来のホームステイを中心とした交流を」と強調されたことが印象に残りました。久しぶりにFFの大きな会合へ出席し、日本各地のクラブの懐かしい友人、新しい友人、ハワイの旧知の母娘や韓国の夫妻など、たくさんの人に会うことができました。参加することに意義があると改めて感じました。

≪FFIの世界大会に参加して≫　　白木　裕巳

世界大会が今回広島にて開催されると知り、参加をしたいと思いました。

広島は被爆地として、暑い夏の毎年8月6日に慰霊祭が執り行われ，記憶の中に悲惨な光景を思い浮かべてきました、FFI 世界大会でこの状況が世界の人たちに知らしめましたが、アメリカ人の人々はどう思いをもったのか，いまだ、ハワイのヒッカム空軍基地内には、真珠湾攻撃による攻撃の痕がある建物が、あちこちに保存されています。

一人で夕食を食べようと広島のホテルの近くを歩いていると、食事をするための外国人に出会い，ニュージランド、カナダ人4人と一緒に食事を楽しくひと時を過ごしました。

お互いFFメンバーと知り、翌日の朝には挨拶がスムーズに、今回,以前に訪問した、ハワイのRobbie 親子が世界大会に参加すると連絡があり、日本での行動に、楽しく、心地よい日本を、お互いのFriendshipを　深めることに努めました。

数多くの海外からの人たちとのGala Party は楽しくダンスをしたり、話をしたり、初めての参加は、よき経験に成りました。

サンタバーバラ渡航 9月21日-10月1日

参加者
加藤孝子　安藤龍藏　蟹江直子
大崎朱美　橋本忠幸
小田さえ子　小倉小枝子
加藤紀子

≪サンタバーバラ交換を終えて≫　ED　加藤孝子

サンタバーバラクラブ交換のEDとして8人の仲間と渡航しました。少人数であるがまとまりが良く、全員の協力でこの交換を盛り立てた楽しい、良い交換が出来たことを感謝しております。

私は、ED宅のMary(70歳)とJack(71歳)さんにお世話になりました。70歳とはとても思えない程可愛くて、散歩をすれば歩調が速くて驚きました。そしてJack曰く、彼女はテニスがとても上手だそうです。こちらのクラブは、ホストの負担を軽くする為にスモールパーティが2回あり他のメンバー宅で夕食をいただきました。最大の呼び物ミッションとマリタイムミュウジアム、山の上のヴェダンク寺院（キリストと仏陀、両方の絵が飾られている）尼さんが庭や住宅を案内してくれました。京都出身の尼さんがハリウッド近くの支部にいるそうです。海の上はいろんなマリンスポーツを楽しむ人達でにぎやかでした。盛りたくさんの体験をさせていただきました。

≪サンタバーバラで会った素敵な人々≫　小田　さえ子

サンタバーバラクラブに「コンピューターレディ」と呼ばれている92歳のメンバーがいる。20年位前に、孫からパソコンの使い方を習い、今ではクラブのいろいろな印刷物を一手に引き受けているそうだ。サンタバーバラで、ひとりひとりのメンバーが、ほんとに生き生きと退職後の生活を楽しんでいるのを見て、私の老後も明るいのではと、大いに楽しみになってきた。“I have changed the way seeing the world.”である

≪Santa Barbara、二つの思いがけない事≫　橋本　忠幸

「ええっ！これあの宇宙館のムーンバギーのタイヤじゃない！」John Barbara夫妻、安藤さんとDinner Hostの家に行き、書斎で見たのがあのタイヤだった。私は仕事で1988年「ぎふ中部未来博覧会」を担当。その時、アメリカの宇宙飛行士Gene Cernanから宇宙服、月着陸船、月の上を走る「自動車（ムーンバギー）」等の本物、レプリカを借りて展示した。Cernanにはそれらを展示した宇宙館の開館式に来てもらった。しかし、設計した人は全く知らなかった。その「ムーンバギー」を設計したのが、Dinner HostのSam Romanoだったのだ。豪邸の彼の部屋には金網で作った「宇宙用タイヤ」が「Samがムーンバギーに乗った写真」と一緒に、壁に掛けてあった。Samに経緯を話すと、ニコニコと笑って、Cernanをよく知っていると応えた。帰って、一緒に企画制作を担当した当時の仲間に話すと「ひゃー、世界は狭いね」とビックリしていた。

思いがけないことがもう一つ。「明後日の水曜、私と私の友達と一緒にゴルフしない」月曜日のリターバンケットから帰ると、Barbaraが誘ってくれた。Barbaraは毎水曜日このGlen Annie Golf Clubでゴルフをしているとのこと。私以外3人は女性。私だけ白マークでショット。アップダウンが多く、池もあればブッシュも、太平洋が見えるホールもあった。不安ではあったが、ロストボール3個で何とか98で回れた。終わって、バーで美味しいコーヒーを飲みながら「とてもいい経験が出来ました。ありがとう」と3人にお礼を言ったら、「私も初めてのバーディー取れて素晴しい経験が出来たわ」とBarbaraの友達が応えてくれた。

秋の行事鈴鹿 バス親睦旅行 10月19日（金）

担当 岡田信春・恵美子

”ようこそ鈴鹿へ”という思いが伝わったのか、その日は前日までの雨がウソのような秋晴れの良いお天気になりました。

鈴鹿市は人口 20 万人の三重県北部に位置する、モータースポーツの町です。

自動車産業を中心に、物産では伊勢型紙、鈴鹿墨、鈴鹿茶などを栽培しています。

今回の鈴鹿の旅は、紅葉狩りには少し早かったのですが、海側にある伝統産業会館（伊勢型紙、鈴鹿墨などの展示を見学）を出発地点に山の麓にある椿大神社を目さしました。途中鈴鹿漁港で水揚げされた、海産物や海の幸を扱う”（株）まるかつ”で試食を楽しみながらの買い物。 そしてあなご料理で有名な”魚長”で昼食を取りながら皆様との親睦を深めました。

昼食のあと立ち寄ったオートリサイクルセンターでは、使用できなくなった自動車の説明と工場見学。そして各パーツはすべて再利用できることを知り、また大きな車も一瞬にして鉄くずになってしまう光景には、衝撃を受けました。

もう一つ、世界二十カ国が参戦しているＦ１グランプリ（フォーミュラー１）も鈴鹿の誇れる一つだと思っています。

今回、私自身も皆様のおかげで、改めてこの町を見直しこの町を愛しているのだということに気つかされました。それから、行き届かない点もある中どんなことにも真摯に受け止め、喜んで下さる FF の皆様に出会えたことも、主人共々とても感謝しております。

これからもどうか宜しくお願いいたします。

≪鈴鹿のバス旅行≫ 山口 晴久

好天に恵まれて、いつもの銀河のバスで、楽しい仲間と行きました。 伊勢産業会館に着くと、岡田さんご夫妻が待っておられ、伊勢型紙や伊勢墨について詳しい説明をしていただきました。

お昼は、海の見える「魚長」で、あなご料理、おいしい料理を味わいました。

次は、今まで見たことのない、自動車の解体現場にいきました。一台の車が、最後には、1メートルの立法体に変わっているのです。岡田さんのお孫さんも「さようなら」と、車の最後を見送っていました。人の最後も十分に活用されて生かされたいですね。

最後は、椿大神社の参拝とテイセレモニーでした。私は、皆さんとはぐれて車に戻っていましたが、鷹野さんに見つけていただき、セレモニーに間に合いました。

今後とも多くの方が参加されると、FF 会員が海外では、見せない顔があってまた、楽しく交流ができますよ。 岡田さんご夫妻大変お世話になりました。

FFI 企画　オールアメリカによるショートステイ　10月26日-28日

FFI 企画によるショートステイプログラムは日頃１週間のホストが出来ない会員に短期間のホストを楽しんで頂きたいと考え、積極的に受け入れました。期待通り多くの皆さんにこの企画を楽しんで頂けました。到着日のホテルでのランチと名古屋城見学は喜ばれ、良かったと思います。お世話くださった沢野井さん、竹中さんに感謝です。　　会長　加藤　紀子

≪ホテルでの歓迎ランチ風景≫

≪２６．２７．２８の受け入れ感想≫　小倉　小枝子

世界大会があって、特別だったかもしれませんが､短い期間に２つもの受け入れは何かと大変だったように思う。
最初の名古屋キャッスルのランチはよかった。
３日間のショートステーは２泊で負担感も少なく、こういうステーなら受け入れも気楽だと思いました。
世界大会に出席される指導者層？の方たちで、日本文化に深い興味をしめされ、また、前もってのメールも丁寧でした。(後でお礼メールはもらっていませんが・・・)
今回　英語に堪能な友人に同行してもらい、質の高い案内が出来たように思う。
会員でない人にも参加してもらうのは FF を知ってもらう上でも良い事だと思う。

≪Laurie-Ann との３日間の思い出≫　　久保　三郎

26 日：家族で外食(7 人)　27 日：Laurie-Ann, Evie, Gordon, (土居さんのアンバサダー)
桜木氏の５人でヘブンズ　園原（富士見高原）へ紅葉見物に行く。夜は土居さん宅でディナーパーティーを楽しみました。
Laurie-Ann とは６回目の再開で最高でした。
今は互いに兄弟と呼び合う親密の仲になりました。
今回の思いがけないショートステイプログラムに感謝しています。

≪我が家のショートステイ≫　　大矢　道子

ショートステイでしたが、 我が家のアンバサダーはカナダからでした。 Ken＆Joanne。 本当に短い滞在でしたが、とても喜んでくださいました。夕飯は冬の定番料理鍋です。簡単でボリュームがあり満足感があります。

この地方には独特の喫茶店の文化があり、朝のコーヒータイムにはコーヒーの他にパン、卵、サラダのサービスがあることを説明しましたら、是非行きたいと言われたので、この朝は Cafe でモーニングでした。その後妻籠、地部坂峠を通り東海自動車道から湾岸自動車道　で刈谷オアシスの名物トイレに入り帰宅しました。今度はカナダでの再会を約束し別れました。

デトロイトクラブ受入交換 11月3日-11日

広島から名古屋へ移動 11/3

フェアウエル　パーティー11/9

≪デトロイト受け入れを終えて≫　西村　貴美子

ED の鷹野さんが受入直前にご家族の都合で ED の仕事ができなくなり、急きょ、会長と私で ED をすることになりました。しかし準備がしっかりとなされており、各行事の担当者が責任を持ってやってくださいましたので、ED 不在による混乱はなかったように思います。改めて FF 愛知の団結力というか底力を実感いたしました。どんな場合もハプニングはつきもの、今回のことはわたくしたちにとってよい経験であり、財産になっていくのだと思います。この度のデトロイト受け入れ交換は 2010 年のワシントンでの世界大会後のホームステイでお世話になったクラブです。その時以来のお付き合いで、今回の受け入れの運びとなりました。会長の Marti Petersen さん、私と鷹野さんのホストだった ED の Linda McGary さんご夫妻をはじめとても明るくフレンドリーな方たちばかりで、愛知クラブのどのホストもとても楽しかったとうれしい感想をいただいています。

≪初めてのホスト≫
岡田恵美子

≪今回のアンバサダー≫　土居　陽子

今回来られた Feld 夫妻は娘さんが滋賀のミシガン大学に一年留学されていたこともあってかとても柔軟な気持ちで過ごしていただきました。まず着いた日にお風呂に入る体験をされました。これは今までの交換の中で初めてでした。そしてある日は近くの温泉に行くかと聞いたところ行きたいと。女性二人ゆったりといろんなお風呂を楽しみました。ご主人は待ち合わせの時間を 10 分もオーバーして気持ちよく出てこられました。　極めつけはファーウェルパーティーにお二人着物を着て出席されたことです。奥さまは古着屋で留袖（500 円）と帯（2,000 円）を購入されその趣味のいいことと寸法がぴったりでした。朝に奥様の着付けをしている時にふっと我が家の男物があったと思いだし来てみたらまた寸法がぴったりお似合いのお二人でした。思い出に残る楽しい一週間をありがとうございました。

ED のリンダ夫妻

≪皆様のご協力、有難うございました≫　鷹野　晴子

受入交換の仕事は約 1 年前から始まりますがアンバサダー到着の 2,3 週間前には各プログラム担当者、ホスト、協力者との確認事項が終わり、全ての準備が完了して ED はアンバサダー到着と共に交換を楽しむのが常です。これは愛知クラブの受入活動が確立しているからであり、どなたでも受入 ED の仕事は可能なのです。皆さん、ぜひこの楽しい仕事に挑戦なさってください。

今回私の個人的な事情で ED の仕事を全う出来ず、皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。会長、西村さんを始め、ホスト、スタッフや多くの皆様のご協力によって無事交換を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。ED の Linda からは毎晩のように「今日も素晴らしいプログラムだった。」「アンバサダーは愛知クラブの人たちとの交流を楽しんでいるよ。」「FF 愛知は素晴らしいクラブだね。」とメールが届いておりました。

皆さん、有難うございました。

マジックを楽しむ

お知らせと報告

事務局からのお知らせ

2013年度総会のお知らせ

期日：2013年2月16日（土）11：00－12：00

2013年の活動予定

＊ 2013年の交換
渡航：
スイス　Sorothurn　6月の予定（募集締め切りました）
ED 谷川智恵子
受け入れ:
イギリス　Bristol　3月31日～
ED　橋本忠幸
オーストラリア　Sunshine Coast　10月の予定
ED　加藤八郎

＊2013年世界大会
ニューオールリンズ　11月22日～25日

＊中部ブロック会議
奈良クラブ主催　6月の予定

新入会員のご紹介

1.
2.
3.

編集・発行　FF愛知　会　長：加藤紀子　puppy-nk@cac-net.ne.jp

事務局：　西村貴美子　kk-nishi@ma.medis.ne.jp
〒478-0001
愛知県知多市八幡字笹廻間12-199　Tel. & Fax 0562-34-0890

ニューズレター 編集・製作：　鷹野晴子　htkn@ma.medias.ne.jp

ホームページ　http://ffaichi.web.fc2.com/